

政策創造学部 教員の養成の目標

<政策創造学部 政策学科>

政策創造学部政策学科では、社会に関係する学問として経済学や政治学、経営学や法律学などの多岐にわたる分野の学びを通して、グローバル化、環境問題、日本の少子高齢化など、国内外の社会問題に対し、解決のための政策を柔軟かつ総合的に判断・提案する能力を養い、新たな時代的变化を見据え、社会科学全域を総合する多様な視点から、現代の国内外の社会問題に挑む思考力、行動力、さらに既存のパラダイムを批判的に分析する能力を有し、本質的に持続可能な市民社会の創造に貢献できる人材の育成を目指している。この教育理念のもと、(1)幅広い豊かな人間性を基盤として、現代社会が抱える諸問題に挑む政策学に関する知識・技能を修得し、それを実践することができる素養、(2)現代の地域社会等で活かせる実践的なコミュニケーション能力を持ち、「考動力」全般を身に付け、実際のフィールドワークなどを通じて、地域社会や諸組織の問題を考える高い思考力を育み、そこに留まらず、実際に立案、行動することができる能力、(3)密なコミュニケーションを基盤とする他者との協働の中で、解のない現代社会の諸問題に意欲的に取り組み、新しい価値を主体的に生み出すことができる態度をそれぞれ身に付けるとともに、教科及び教職に関する体系的な教職課程カリキュラムの履修を通じて、教科指導及び生徒指導等における実践的指導力並びにそれらを下支えする強い使命感、教育的愛情、コミュニケーション力等、教師に求められる人格と力量を兼ね備える、豊かな感性と個性を持った教員を養成する。

(政策創造学部 政策学科 中一種免 社会)

基礎となる学部専門教育において、専門の基礎及び政策立案に必要な学問分野として、国際関係論、政治学、経済学、経営学、法律学等、社会科学諸分野を基礎とし、それらを総合した実践的な問題解決の学問である政策学を学ぶとともに、データを通じて社会的な課題を読み解く分析力を育成するなど、幅広い基礎知識を身に付けたうえで専門的な学びへと段階的に転換を図り、各自の関心に応じてより専門性の高い学びを深め、社会における公的な問題を発見し、地球的な視野からその解決策について考え、実行できる能力を養成するカリキュラムを編成している。具体的には、必要な基礎能力を身に付けたうえで、政治経済専修と地域経営専修に所属し、前者の専修では、政治・経済の動因を認識・分析し、現代国家における政治的決定の本質、法と社会生活の関わりなどを多角的に分析し、公共政策を歴史的、規範的、実証的に考察して新しい公共的空間を創造できる力を養成している。一方後者の専修では、地域社会、地方公共団体における普遍的課題を探求し、行政の在り方、地域産業や福祉サービスをデザインする能力を養成し、自治的・自立的で持続可能な地域社会の構築を前提に、組織の問題解決に向けて実践的に行動できる力を養成している。これらの系統立てた学びの中で豊かな教養と高度で深い専門的学芸を学位プログラムとして修めており、中学校「社会」の教職課程では、その学位にふさわしい高い専門性と知識能力を基盤としながら、(1)わが国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料からさまざまな情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする、(2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う、(3)社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養されるわが国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めるなど、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成できる質の高い教科指導力を有し、総合的な学習の時間、生徒・進路指導及び学校経営・学級経営においてもこれらの学問的独自性と教育の特色を活かした専門性開発により、学校現場においてリーダーシップを発揮しうる教員を養成する。

(政策創造学部 政策学科 高一種免 地理歴史)

基礎となる学部専門教育において、専門の基礎及び政策立案に必要な学問分野として、国際関係論、政治学、経済学、経営学、法律学等、社会科学諸分野を基礎とし、それらを総合した実践的な問題解決の学問である政策学を学ぶとともに、データを通じて社会的な課題を読み解く分析力を育成するなど、幅広い基礎知識を身に付けたうえで専門的な学びへと段階的に転換を図り、各自の関心に応じてより専門性の高い学びを深め、社会における公的な問題を発見し、地球的な視野からその解決策について考え、実行できる能力を養成するカリキュラムを編成している。具体的には、必要な基礎能力を身に付けたうえで、政治経済専修と地域経営専修に分属し、前者の専修では、政治・経済の動因を認識・分析し、現代国家における政治的決定の本質、法と社会生活の関わりなどを多角的に分析し、公共政策を歴史的、規範的、実証的に考察して新しい公共的空間を創造できる力を養成している。一方後者の専修では、地域社会、地方公共団体における普遍的課題を探求し、行政の在り方、地域産業や福祉サービスをデザインする能力を養成し、自治的・自立的で持続可能な地域社会の構築を前提に、組織の問題解決に向けて実践的に行動できる力を養成している。これらの系統立てた学びの中で豊かな教養と高度で深い専門的学芸を学位プログラムとして修めており、高等学校「地理歴史」の教職課程では、その学位にふさわしい高い専門性と知識能力を基盤としながら、(1)現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料からさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする、(2)地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う、(3)地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、わが国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めるなど、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成できる質の高い教科指導力を有し、総合的な学習の時間、生徒・進路指導及び学校経営・学級経営においてもこれらの学問的独自性と教育の特色を活かした専門性開発により、学校現場においてリーダーシップを発揮しうる教員を養成する。

(政策創造学部 政策学科 高一種免 公民)

基礎となる学部専門教育において、専門の基礎及び政策立案に必要な学問分野として、国際関係論、政治学、経済学、経営学、法律学等、社会科学諸分野を基礎とし、それらを総合した実践的な問題解決の学問である政策学を学ぶとともに、データを通じて社会的な課題を読み解く分析力を育成するなど、幅広い基礎知識を身に付けたうえで専門的な学びへと段階的に転換を図り、各自の関心に応じてより専門性の高い学びを深め、社会における公的な問題を発見し、地球的な視野からその解決策について考え、実行できる能力を養成するカリキュラムを編成している。具体的には、必要な基礎能力を身に付けたうえで、政治経済専修と地域経営専修に分属し、前者の専修では、政治・経済の動因を認識・分析し、現代国家における政治的決定の本質、法と社会生活の関わりなどを多角的に分析し、公共政策を歴史的、規範的、実証的に考察して新しい公共的空間を創造できる力を養成している。一方後者の専修では、地域社会、地方公共団体における普遍的課題を探求し、行政の在り方、地域産業や福祉サービスをデザインする能力を養成し、自治的・自立的で持続可能な地域社会の構築を前提に、組織の問題解決に向けて実践的に行動できる力を養成している。これらの系統立てた学びの中で豊かな教養と高度で深い専門的学芸を学位プログラムとして修めており、高等学校「公民」の教職課程では、その学位にふさわしい高い専門性と知識能力を基盤としながら、(1)選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料からさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする、(2)現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う、(3)よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めるなど、社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成できる質の高い教科指導力を有し、総合的な学習の時間、生徒・進路指導及び学校経営・学級経営においてもこれらの学問的独自性と教育の特色を活かした専門性開発により、学校現場においてリーダーシップを発揮しうる教員を養成する。

<政策創造学部 国際アジア学科>

政策創造学部国際アジア学科では、激動する国際関係、国際経済を読み解くために必要とされる多角的な視点を養うため、政治、経済、法律の基礎を身に付け、特に欧米とアジアの政治、経済、法律を比較して、それぞれの特徴を学び、今後、世界がどのような問題に直面するのか、またその問題を解決するにはどうしたらよいかを考える力と行動力=考動力を養うとともに、新たな時代的变化を見据え、政策立案力を養成し、国際社会に貢献する人材の育成を目指している。この教育理念のもと、(1)幅広い豊かな人間性を基盤として、多様な国際社会を総体的に理解し、国際化時代に通用する政策立案力を養う政策学に関する知識・技能を修得し、それを実践することができる素養、(2)国際社会で活かせる実践的なコミュニケーション能力を持ち、「考動力」全般を身に付け、実際のフィールドワークなどを通じて、実社会の問題を考える高い思考力を育み、そこに留まらず、実際に立案、行動することができる能力、(3)密なコミュニケーションを基盤とする他者との協働の中で、欧米とアジア等の国際的な課題に主体的に取り組み、新しい価値を主体的に生み出すことができる態度をそれぞれ身に付けるとともに、教科及び教職に関する体系的な教職課程カリキュラムの履修を通じて、教科指導及び生徒指導等における実践的指導力並びにそれらを下支えする強い使命感、教育的愛情、コミュニケーション力等、教師に求められる人格と力量を兼ね備える、豊かな感性と個性を持った教員を養成する。

(政策創造学部 国際アジア学科 高一種免 公民)

基礎となる学部専門教育において、専門の基礎及び政策立案に必要な学問分野として、国際関係論、政治学、経済学、経営学、法律学等、社会科学諸分野を基礎とし、それらを総合した実践的な問題解決の学問である政策学を学ぶとともに、データを通じて社会的な課題を読み解く分析力を育成するなど、幅広い基礎知識を身に付けたうえで専門的な学びへと段階的に転換を図り、各自の関心に応じてより専門性の高い学びを深め、社会における公的な問題を発見し、地球的な視野からその解決策について考え、実行できる能力を養成するカリキュラムを編成している。具体的には、必要な基礎能力を身に付けたうえで、その基礎を横断的に活用し、欧米諸国のみならず、アジアをはじめとした発展途上の各国・地域の政策と社会を学び、比較研究等を行う中で、世界が直面してきた「過去」のさまざまな経験、そして今起きている「現在」を知り、そのうえで激動する国際社会を読み解き、混迷する世界に挑み、今後の世界の在り方を模索し、グローバルな視点で「未来」を創造し、切り拓く力を養成している。これらの系統立てた学びの中で豊かな教養と高度で深い専門的学芸を学位プログラムとして修めており、高等学校「公民」の教職課程では、その学位にふさわしい高い専門性と知識能力を基盤としながら、(1)選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料からさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする、(2)現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う、(3)よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めるなど、社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成できる質の高い教科指導力を有し、総合的な学習の時間、生徒・進路指導及び学校経営・学級経営においてもこれらの学問的独自性と教育の特色を活かした専門性開発により、学校現場においてリーダーシップを発揮しうる教員を養成する。